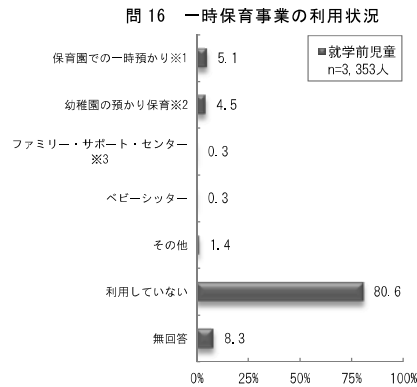


(2) 不定期の一時保育の利用について

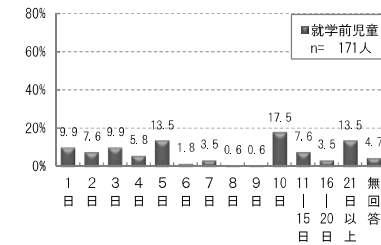
一時保育の利用状況は、「一時保育」(5.1%)、「幼稚園の預かり保育」(4.5%)と、あまり利用がない状況です。



※1 保育園での一時預かり：私用など理由を問わずに保育園で一時的に子どもを保育するサービス
 ※2 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち不定期に利用する場合のみ
 ※3 ファミリー・サポート・センター：市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる相互援助活動

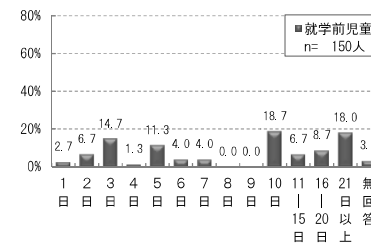
一時的に預けた利用日数は、年間「10日」(17.6%)、「5日」「21日以上」(各13.5%)、「1日」と「3日」(各9.9%)などとなっています。

問 16.1 保育園での一時預かり (年間)

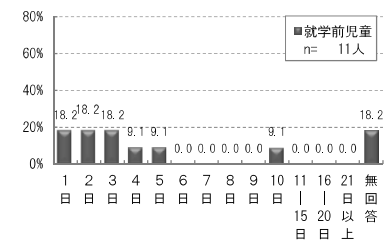


幼稚園の預かり保育は、年間「10日」(18.7%)、「21日以上」(18.0%)、「3日」(14.7%)の順となっています。
 ファミリー・サポート・センターは、「1日」と「2日」と「3日」(各18.2%)、「4日」と「5日」と「10日」(各9.1%)の順となっています。
 ベビーシッターは、「1日」と「21日以上」(各27.3%)、「5日」(18.2%)の順となっています。
 その他の事業は、「5日」(14.9%)、「21日以上」(12.8%)となっています。

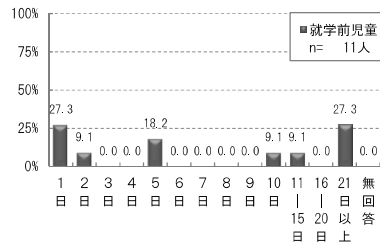
問 16.2 幼稚園の預かり保育 (年間)



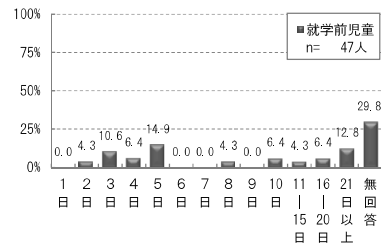
問 16.3 ファミリー・サポート・センター (年間)



問 16.4 ベビーシッター（年間）

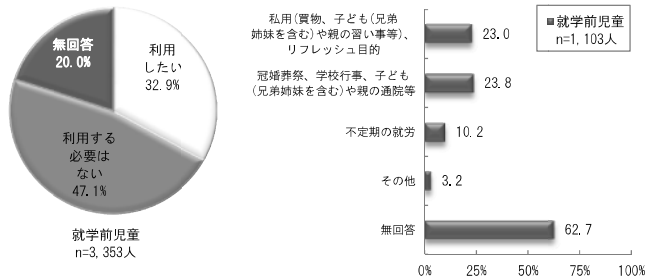


問 16.5 その他（年間）

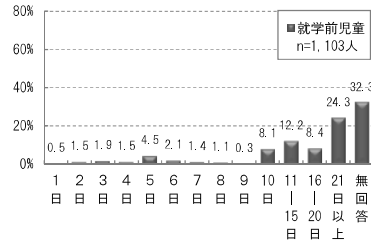


一時保育事業の利用希望とその目的をみると、「利用する必要はない」(47.1%)、「利用したい」(32.9%)となっています。
 利用したい方の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(23.8%)、「私用、リフレッシュ目的」(23.0%)、「不特定の就労」(10.2%)の順となっています。利用希望日数は「21日以上」(24.3%)、「11-15日」(12.2%)、「16-20日」(8.4%)の順となっています。

問 17 一時保育事業の利用希望とその目的

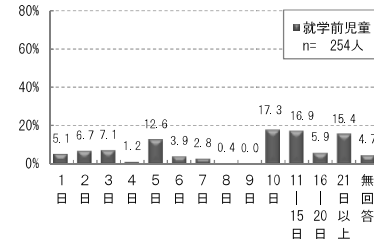


問 17 利用希望年間合計日数

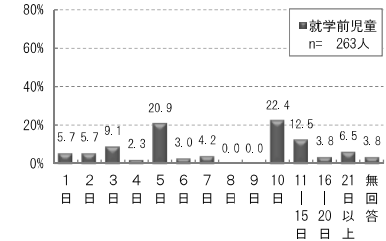


目的ごとの希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、年間「10日」(17.3%)、「11-15日」(16.9%)、「21日以上」(15.4%)、「5日」(12.6%)の順となっています。
 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的は、「10日」(22.4%)、「5日」(20.9%)の順となっています。
 不特定の就労目的は、「21日以上」(33.0%)、「10日」(15.2%)、「5日」(10.7%)の順となっています。
 その他の目的は、「21日以上」(40.0%)が最も多くなっています。

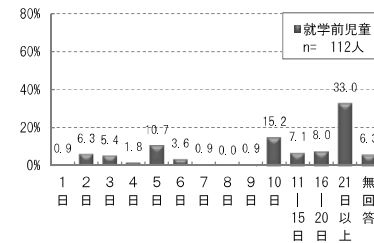
問 17.1① 私用、リフレッシュ目的



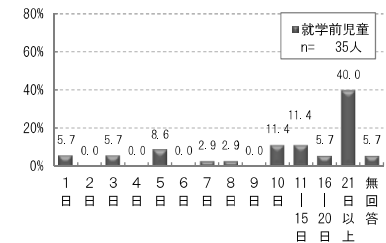
問 17.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



問 17.1③ 不特定の就労



問 17.1④ その他

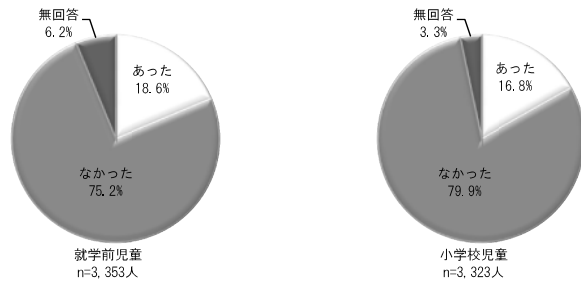


(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について

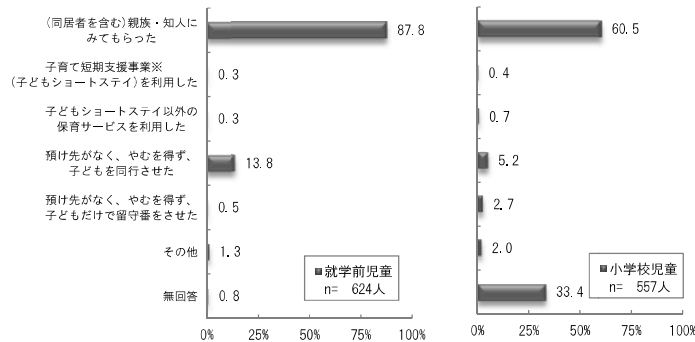
就学前児童の保護者の18.6%の方は、この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けています。この対処方法は、「(同居人を含む)親族・知人にみてもらった」(87.8%)が最も多くなっています。

また、小学校児童の保護者の16.8%の方も、この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けています。この対処方法は、就学前児童と同様に「(同居人を含む)親族・知人にみてもらった」(60.5%)が最も多くなっています。

問18[問15] この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無



問18.1[問15.1] 1年間の対処方法



※子育て短期支援事業：保護者が入院などで一時的に養育できなくなったとき、子どもを預かる事業

一年間の対処方法をみると、就学前児童では、(同居人を含む)親族・知人にみてもらった泊数は、「1泊」(38.3%)、「2泊」(19.3%)、「5泊」(9.1%)の順になっています。

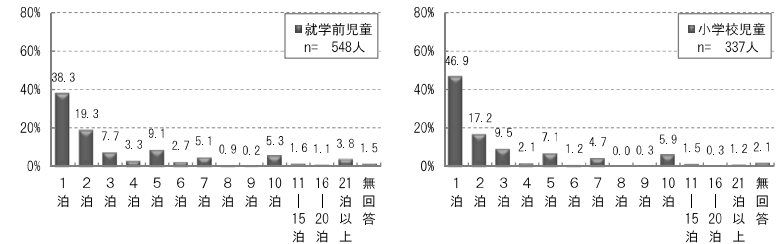
子育て短期支援事業を利用した泊数は、「2泊」(50.0%)、子育て短期支援事業以外のサービスを利用した泊数は、「10泊」(100.0%)となっています。

子どもを同行させた泊数は、「1泊」(37.2%)、「2泊」(32.6%)の順になっています。子どもだけで留守番をさせた泊数は、「3泊」と「4泊」(各33.3%)の順になっています。

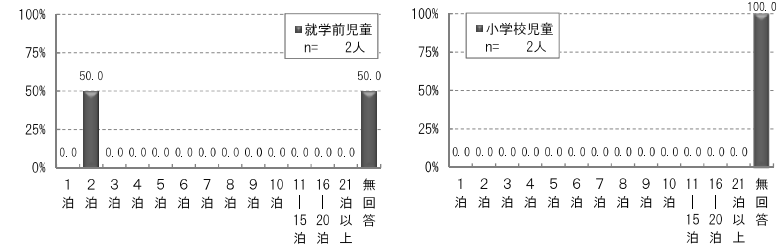
その他の対処をした泊数では、就学前児童で「4泊」(25.0%)、「1泊」と「2泊」と「3泊」と「6泊」(各12.5%)に回答がありました。

また、小学校児童でも、就学前児童とほぼ同様の回答がありました。

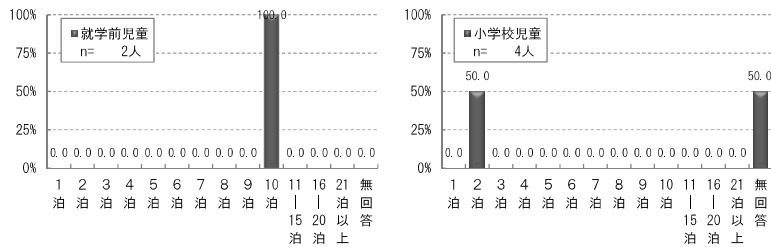
問18.1①[問15.1①] (同居人を含む)親族・知人にみてもらった泊数



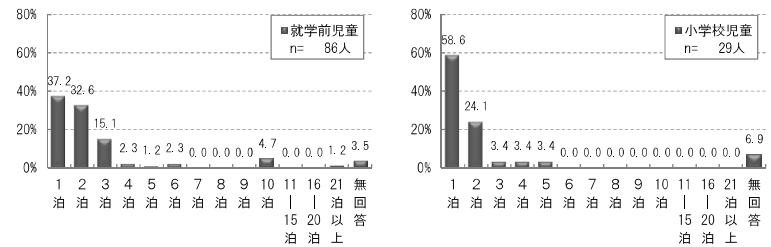
問18.1②[問15.1②] 子育て短期支援事業を利用した泊数



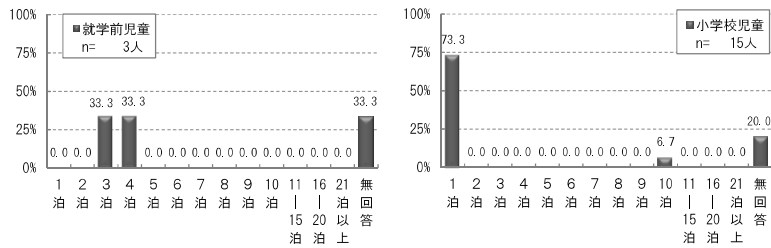
問 18.1③[問 15.1③] 子育て短期支援事業以外の保育サービスを利用した泊数



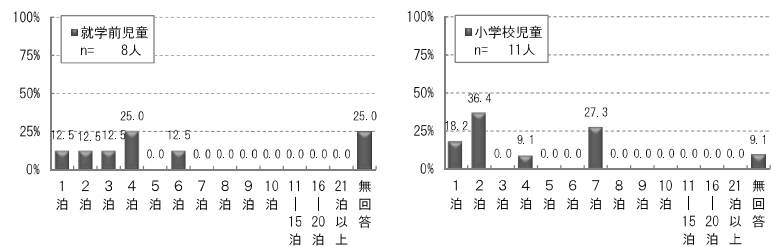
問 18.1④[問 15.1④] 預け先がなく、やむを得ず、子どもを同行させた泊数



問 18.1⑤[問 15.1⑤] 預け先がなく、やむを得ず、子どもだけで留守番をさせた泊数



問 18.1⑥[問 15.1⑥] その他の泊数

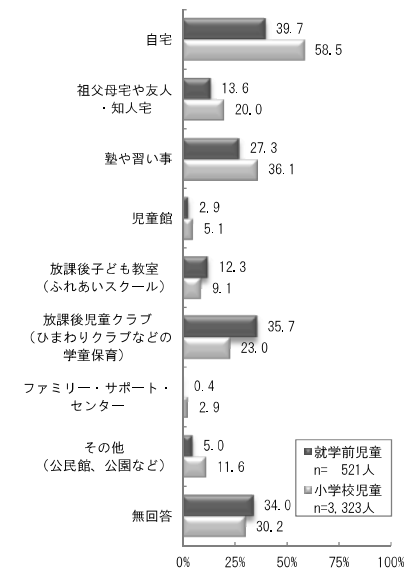


3 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方をみると、就学前児童では「自宅」(39.7%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(35.7%)、「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(27.3%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(13.6%)の順に希望しています。一方、小学校児童の希望では、「自宅」(58.5%)、「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(36.1%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(23.0%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(20.0%)で順位は入れ替わったものの、希望する居場所は同じでした。

問 21[問 11] 放課後の主な居場所



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生、「小学校児童」は1～6年生の意味です。

就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数を見ると、「自宅」では「5日」（低学年時期 30.9%・高学年時期 30.4%）が最も多くなっています。「祖父母や友人・知人宅」では、低学年時期において「5日」（19.7%）、高学年時期においては「1日」（18.3%）が最も多くなっています。

「塾や習い事」では、低学年・高学年の時期ともに「1～3日」という回答が多くを占めています。「児童館」と「放課後子ども教室」では、「1～5日」の中で回答がばらついています。児童館は低学年の時期で「1日」、高学年の時期で「2日」、「放課後子ども教室」は「1日」という回答が多くなっています。

「放課後児童クラブ」では、「5日」（低学年時期 70.4%・高学年時期 23.1%）が最も多くなっています。「ファミリー・サポート・センター」では、希望人数がごく少数であるため、傾向はみられません。

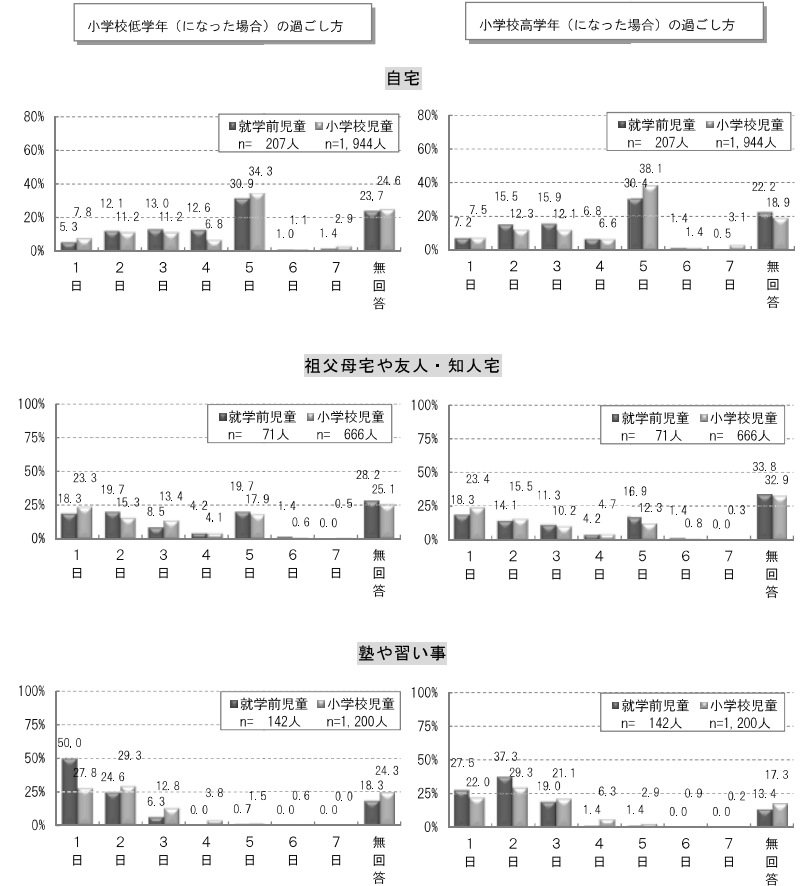
一方、小学校児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数を見ると、「自宅」では「5日」（低学年時期 34.3%・高学年時期 38.1%）が最も多くなっています。「祖父母や友人・知人宅」では「1日」（低学年時期 23.3%・高学年時期 23.4%）が最も多くなっています。

「塾や習い事」では、低学年・高学年の時期にかかわらず「1～3日」という回答が多くを占めています。「児童館」と「放課後子ども教室」では、ともに「1日」が最も多くなっています。

「放課後児童クラブ」では、「5日」（低学年時期 62.5%・高学年時期 7.9%）が最も多くなっています。

「ファミリー・サポート・センター」では、「無回答」が多いものの、「1日」と「2日」と数人の回答がありました。

問 21[問 11] 放課後の過ごし方の希望日数
（※小学生は現状または希望する日数）

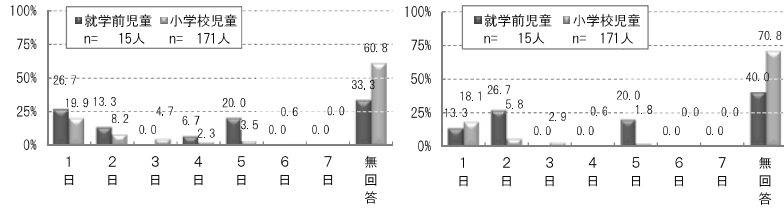


第2章 子育て支援サービス等の現状と今後のニーズ量

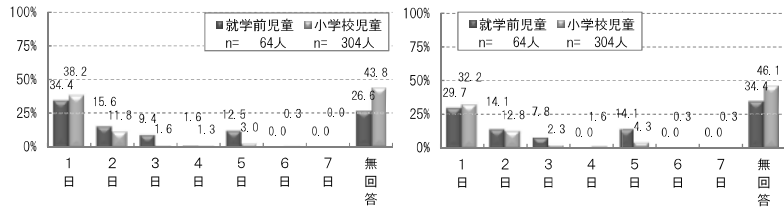
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

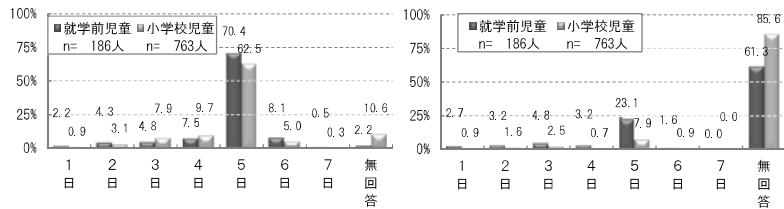
児童館



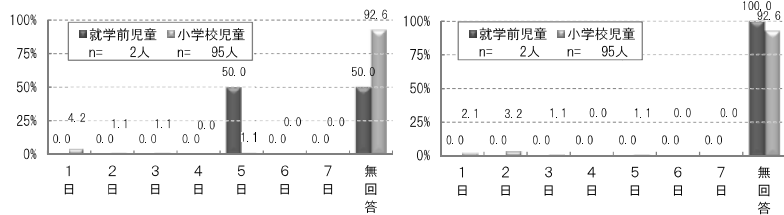
放課後子ども教室



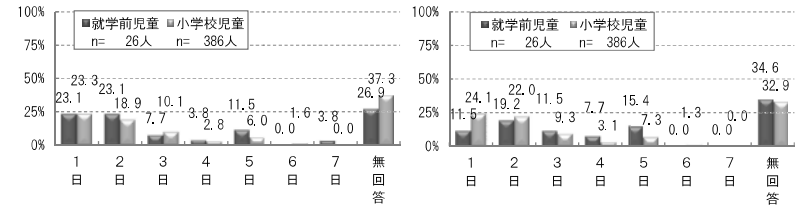
放課後児童クラブ



ファミリー・サポート・センター



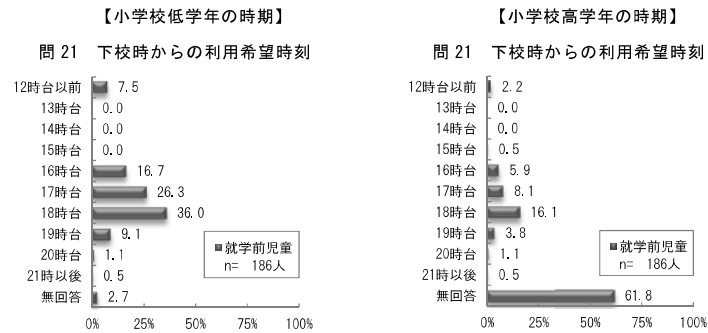
その他



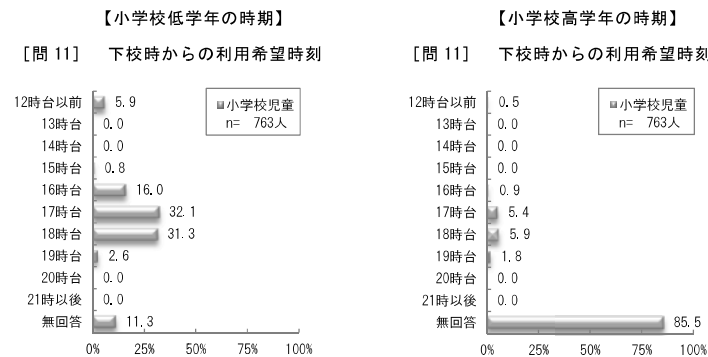
下校時から放課後児童クラブを何時まで利用したいかをみると、就学前児童では低学年時期で「18 時台」(36.0%) が最も多くなっています。高学年時期でも「18 時台」(16.13%) が最も多いですが、「無回答」が6割以上を占めています。

小学校児童については、低学年時期で「17 時台」(32.1%)、高学年時期で「18 時台」(5.9%) が最も多くなっていますが、高学年時期では就学前児童と同様に「無回答」の割合が高い状況です。

「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（就学前児童の希望）



「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（小学校児童の希望）



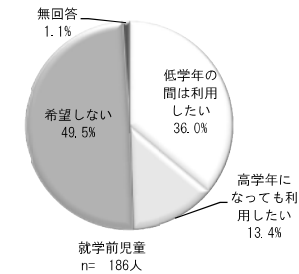
(2) 土曜・休日の放課後児童クラブ利用について

放課後児童クラブの土曜・休日の利用希望をみると、就学前児童では「低学年の間は利用したい」(土曜 36.0%・休日 9.1%)、「高学年になっても利用したい」(土曜 13.4%・休日 6.5%)、「希望しない」(土曜 49.5%・休日 80.1%)となっています。一方、小学校児童では「低学年の間は利用したい」(土曜 21.1%・休日 5.2%)、「高学年になっても利用したい」(土曜 12.3%・休日 4.6%)、「希望しない」(土曜 51.1%・休日 73.4%)となっています。

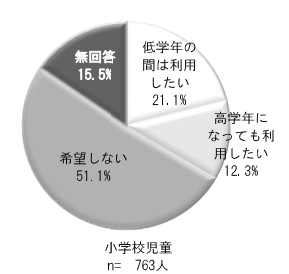
土曜日の希望利用開始時刻は、「8 時台」(就学前児童 65.2%・小学校児童 56.9%) が最も多く、希望利用終了時刻では「18 時台」(就学前児童 28.3%・小学校児童 35.7%) が最も多くなっています。

休日についても土曜日とほぼ同じ状況となり、希望利用開始時刻は、「8 時台」(就学前児童 51.7%・小学校児童 50.7%) が最も多く、希望利用終了時刻では就学前児童は「17 時台」(27.6%)、小学校児童は「18 時台」(41.3%) が最も多くなっています。

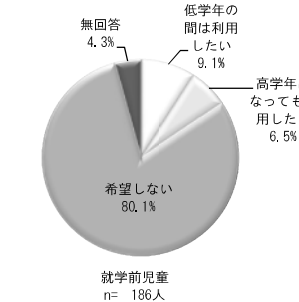
問 22(1) 土曜日の利用希望



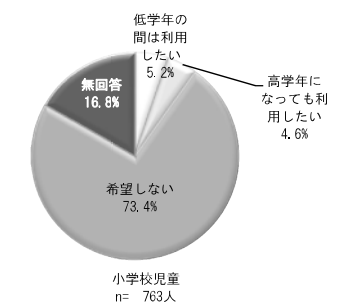
[問 12(1)] 土曜日の利用希望



問 22(2) 日曜・祝日の利用希望

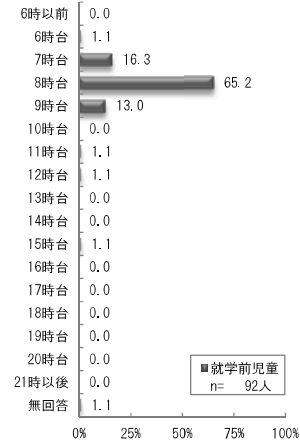


[問 12(2)] 日曜・祝日の利用希望

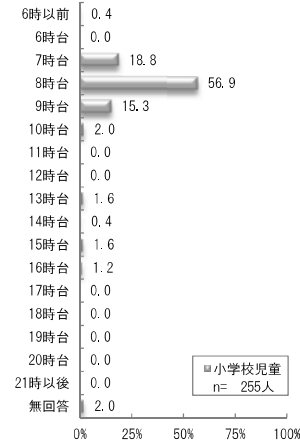


第2章 子育て支援サービス等の現状と今後のニーズ量

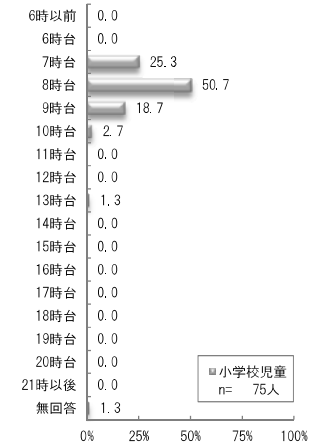
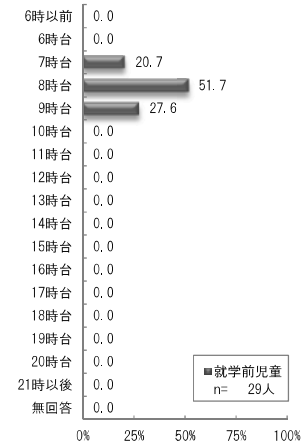
問 22(1) 土曜日の希望利用開始時間



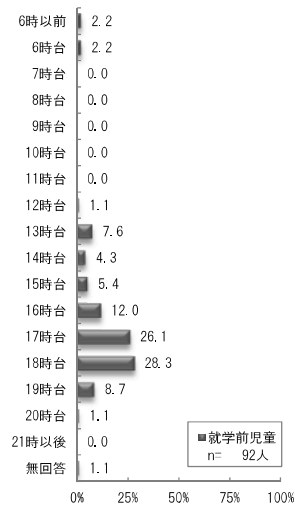
[問 12(1)] 土曜日の希望利用開始時間



問 22(2).1 日曜・祝日の希望利用開始時間 [問 12] (2).1 日曜・祝日の希望利用開始時間



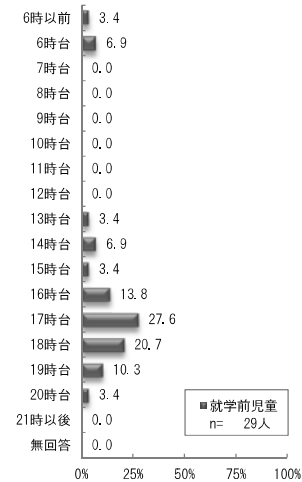
問 22(1) 土曜日の希望利用終了時間



[問 12(1)] 土曜日の希望利用終了時間



問 22(2).2 日曜・祝日の希望利用終了時間 [問 12] (2).2 日曜・祝日の希望利用終了時間

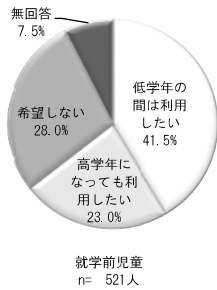


(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について

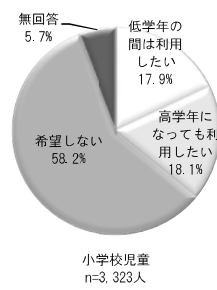
長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望をみると、就学前児童では「低学年の間は利用したい」(41.5%)、「高学年になっても利用したい」(23.0%)、「希望しない」(28.0%)となっています。一方、小学校児童では「低学年の間は利用したい」(17.9%)、「高学年になっても利用したい」(18.1%)、「希望しない」(58.2%)となっており、小学校児童の希望割合が低下しています。

希望利用開始時刻は、「8時台」(就学前児童 54.5%・小学校児童 57.7%)が最も多く、希望利用終了時刻では就学前児童は「17時台」(30.4%)、小学校児童は「18時台」(30.7%)が最も多くなっています。

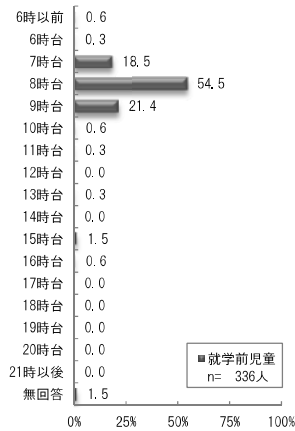
問 23 長期休暇中の利用希望



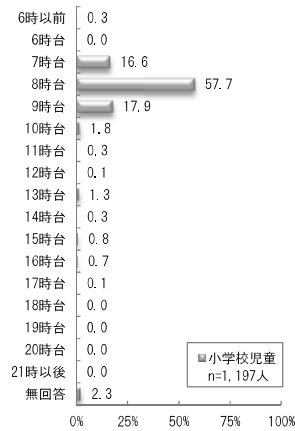
[問 13] 長期休暇中の利用希望



問 23 長期休暇中の希望利用開始時間



[問 13] 長期休暇中の希望利用開始時間



問 23 長期休暇中の希望利用終了時間



[問 13] 長期休暇中の希望利用終了時間

